

I

■出題のねらい

数学 I, II, A, B の内容から, 式の計算, 等差数列の一般項と和, 2 次関数のグラフと面積, 平面ベクトルを選び, 基本的な知識と計算力を問いました。

■採点講評

全体的によくできていました。

- (1) $(x+2)^2 = 7$ から直ちに正答が求まります。計算ミスや $+6$ を計算し忘れている解答がありました。
- (2) 等比数列と間違えている解答がありました。和の計算で 10 を代入していない解答もありました。
- (3) y 座標のみを問われているのに, 頂点の座標を答えている解答がありました。
- (4) 位置関係から空所 は 0 と 1 の間の数となりますが, 1 より大きい解答がありました。

II

■出題のねらい

指数, 対数, 三角関数に関する基本的な知識を問いました。また, 関数の積の微分の計算力を問いました。

■採点講評

- (1) 対数を用いた不等式に関する問題でした。あまりできがよくありませんでした。対数を外した形にできていない, 真数条件を見落とす等の間違いが多く見受けられました。
- (2) 三角関数と指数関数の積の微分に関する問題でした。とてもよくできていました。 x の範囲の見落としが原因と考えられる誤答が散見されました。

III

■出題のねらい

微分，積分，極限に関する知識と計算力を問いました。

■採点講評

全体的によくできていました。

- (1) 微分計算の問題です。よくできていましたが，計算ミスもありました。計算を見直すことを心掛けましょう。
- (2), (3) はよくできていました。
- (4) $x = -\frac{1}{2}$ で極大となる理由がない，または説明不足である解答が見受けられました。

IV

■出題のねらい

相加平均と相乗平均の関係と場合の数に関する基本的な知識を問いました。

■採点講評

- (1) 相加平均と相乗平均の関係は高校数学の様々な場面で利用されます。定義を覚えるだけでなく，その内容もよく理解しましょう。相乗平均値は相加平均値より大きくなりません。特に，この2つの平均値が等しくなるのは $a = b$ のときであることにも注意しましょう。これらのことを見落としている解答が多かったです。
- (2) この問題は正答率が高かったです。最初の空所はサイコロの大きさがすべて異なることに注意しましょう。残りの2つの空所は，条件に合う組み合わせを数えると確実です。

V

■出題のねらい

3次関数の微分法に関する基本的な知識を問いました。

■採点講評

- (1) ほとんどの人ができていました。
- (2) $f'(x)=0$ となる x の値 p , q を求めることはできても、平均変化率について間違った定義式を用いている人が多数いました。さらに計算ミスの結果、 a の値を間違えた人や、多くの時間を費やしたと思われる人が見受けられました。
- (3) 曲線 $y=f(x)$ と直線 $y=kx$ が2個の共有点をもつことから、 $(x(x^2-3x-k)=0$ と変形し) $x^2-3x-k=0$ の判別式 $D=0$ を解いて、 $k=-\frac{9}{4}$ が得られることに気づいた人は少数でした。また、 $k=0$ のときも題意を満たすことを示していない人が多くいました。

I

■出題のねらい

(1) 表が示す情報を読み取り、英語の質問に適切に答えることができるかどうかを問いました。比較表現で何と何が比較されているのかをみて、数量表現を理解できれば正答するのは難しくありません。(2) の 、 は会話における基本的な受け答えができるかどうかを問いました。 は文構造の理解を問いました。

■採点講評

英語による質問、選択肢でしたが、まずまずのできてました。正答率が低かったのは、 です。“I wonder” の後ろなのでよく考えずに “I wonder if～” と判断し、“if” を選んだ人が多かったようです。“if” だと、後の部分 “Japan’s main exports are” の補語がないことになってしまいます。最後まで注意しましょう。

II

■出題のねらい

小説からの抜粋で、登場人物の関係や背景、描かれている状況を適切に読み取る能力を問いました。難しいと思う箇所があっても、前後の文脈から意味のつながりを推測しつつ読み進める姿勢が重要です。また、問われている情報がどの段落にあるのか素早く判断することも求められます。

■採点講評

大問 同様、英語による質問、選択肢でしたが、まずまずのできてました。しかし、、 の正答率は低かったです。これらは “race” で誰が勝ったのか、“race” の展開を問うています。最後の段落を落ち着いて読めば、そこに正答は書かれています。

III

■出題のねらい

会話における応答として適切なものを選ぶことができるかどうかを問いました。代名詞の使用に注意が必要です。また、“appointment”, “available”, “convenient” のような会話においてよく出てくる表現を知っているかどうかともみました。

■採点講評

[12]の正答率が低かったです。“make an appointment”を知っているかどうかは解答のポイントでした。

IV

■出題のねらい

(1)は、基本的な文法や単語、熟語の理解や文脈から適切な語を選択する能力をみます。(2)は、多義語の意味の理解をみます。(3)は、ダッシュで示されている語の言い換えがすぐ後に出ていることに気づくかどうかをみます。(4)は、“out of stock”, “sold out”といった表現の知識をみます。(5)は、動詞“allow”の用法の理解をみます。(6)は、本文の内容理解を問う問題ですが、述べられている内容を注意深く適切に把握することができるかをみます。

■採点講評

空所補充問題で正答率が低かったのは[20]、[21]でした。共に英文の構造を正しく理解していれば正答できたと思います。[25]も、“allow”という動詞が取る構造を理解しているかどうかは解答のポイントでした。英文全体の理解を問う[26]～[28]の正答率も低かったです。この3つとも合った完全正答率は50%を下回りました。英文が長い場合、問われている情報が英文のどこに関係するのか判断することが必要です。読む際に、繰り返し出てきてキーワードになると思った単語は○で囲んでおくなど目印をつけておくといいでしょう。どこを見ればよいのかわかれば、簡単に答えられる問題もあります。英文の長さにはひるまず、書かれていることの要点を把握しようとする姿勢が正答につながります。

I

出典『コミュニケーションの日本語』（森山卓郎）岩波ジュニア新書

ことばによるコミュニケーションにおいて、文化的な背景がどの程度関係するかを説明しています。文どうしの関係、また段落どうしの関係を把握することがポイントです。

問1【漢字問題】（解答番号は1～10）

本文中で使われた漢字を最初に示し、その後にa～eの正答率を示しておきます。

- a 拡張（94%）
- b 帰属（61%）
- c 反映（44%）
- d 特性（87%）
- e 配慮（94%）

問2【文脈把握問題】（解答番号は11）

空欄【甲】の個所を含む段落、その次の段落の主旨を理解しているかがポイントです。

正答は⑤です。正答率は50%でした。

問3【文脈把握と第三節の内容理解に関する問題】（解答番号は12）

空欄【乙】の部分は節の途中にあります。この直前の部分に「挨拶の動きを考える上で少しおもしろいのは」とあることから、この段落の内容だけでなく、この節全体の主旨を表している個所であるといえます。したがって、空欄【乙】以降の文章全体を読まないで、正答を探し当てることはできません。①が正答です。正答率は35%でした。

問4【内容把握と熟語の意味、および漢字問題】（解答番号は13・14）

空欄【I】は②が正答です。①が紛らわしいですが、「挨拶言葉の言語は、言語によって違ってきます」は当たり前のことを言っているにすぎません。空欄【II】は①が正答です。他はいずれも文脈および文の内容に合致していません。正答率は空欄【I】が57%、空欄【II】が63%でした。

問5【内容把握問題】（解答番号は15）

正答は②です。①は「相手のことに特に関心があるわけでもない場合に」の部分が不適切です。③は「いかなる場合であっても」が不適切です。④は日本語で「どちらへお出かけですか?」という直接的な質問が可能であることから不適切です。⑤は「病院へ行くこととしていることが予想される時には」という個所が不適切（常識的に考えて、普通は予想できない）です。⑥は「ほとんどの場合」、「多くの場合」という個所が本文の内容と合致せず、不適切です。正答率は80%でした。

問6【内容把握問題】（解答番号は16）

前後の内容を含めて要旨が述べられている③が正答です。正答率は94%でした。

問7【内容把握と第四節の内容理解に関する問題】（解答番号は17）

⑤が正答です。①は「時間帯によって表現の仕方が異なるという点でよく似ている」という個所が不適切です。②は「相手に対する言語や文化の違いを考えなくてもよいという類似点がある」という個所が不適切です。③と解答した受験者が多く見られましたが、「相手の邪魔をしているという認識をもっていなければならない」という部分が、本文中の第四段落十一行目「もちろん、本当に謝っているわけではありません」という部分と矛盾しています。④は日本語の「もしもし」の由来しか説明していないので不適切です。正答率は44%でした。

問8【本文の内容全体について理解を問う問題】（解答番号は18）

問題文全体の内容を簡潔に述べている④が正答です。①は「挨拶をするべきではない」が不適切です。②は本文中に記されていない内容です。③は挨拶の態度と相手への気遣いとの優先順位について言及しており、やはり本文で言及されていません。⑤は「世界には共通した挨拶表現があるが」の部分が不適切です。正答率は76%でした。

II

出典 『オトコの進化論』(山極寿一) ちくま新書

論理の筋道を「全体」と関連つけてきちんと読めば、筆者の意図は理解できます。長い文章を適当にとばし読みをして、自分勝手な解釈に陥らないようにしましょう。

問1 【漢字問題】(解答番号は19・28)

本文中で使われた漢字を最初に示し、その後にa～eの正答率を示しておきます。

- a 恒常 (41%)
- b 重複 (67%)
- c 障壁 (78%)
- d 摂取 (94%)
- e 察知 (85%)

問2 【文と文のつながりを考えさせる問題と副詞の使い方の問題】(解答番号は29・31)

空欄Ⅰの正答は同格の「つまり」です。空欄Ⅱは前後の文脈から考えて逆接が入ります。空欄Ⅲは結びの語句「なかつたのだろう」から導き出せます。

問3 【他の段落から内容を考える問題】(解答番号は32)

後ろの段落で説明されている「果実食」に関する記述がヒントです。

問4 【文脈把握を試した問題】(解答番号は33)

前段落にある「一緒に暮らさないという原則のもとに成り立っている」と空欄の後ろにある「警戒心を解いて一緒に行動する」がヒントです。「融合」や「接触」では意味が異なります。

問5 【後の説明を理解できたかを問う問題】(解答番号は34)

後ろにある説明の「オスたちだけがいつしよになれば」と「メスたちだけなら」から「同性」が導けます。正答率は50%と低かったです。

問6 【段落のつながりを見出す問題】(解答番号は35)

正答は後ろの段落の初めの「人間の社会もその一つ」からわかるはずです。

問7 【要約問題】(解答番号は36・37)

36の正答率は65%です。ここで「社会」を入れてはいけません。集団の「進化」したものが「社会」になるという筆者の意図を理解しなければなりません。